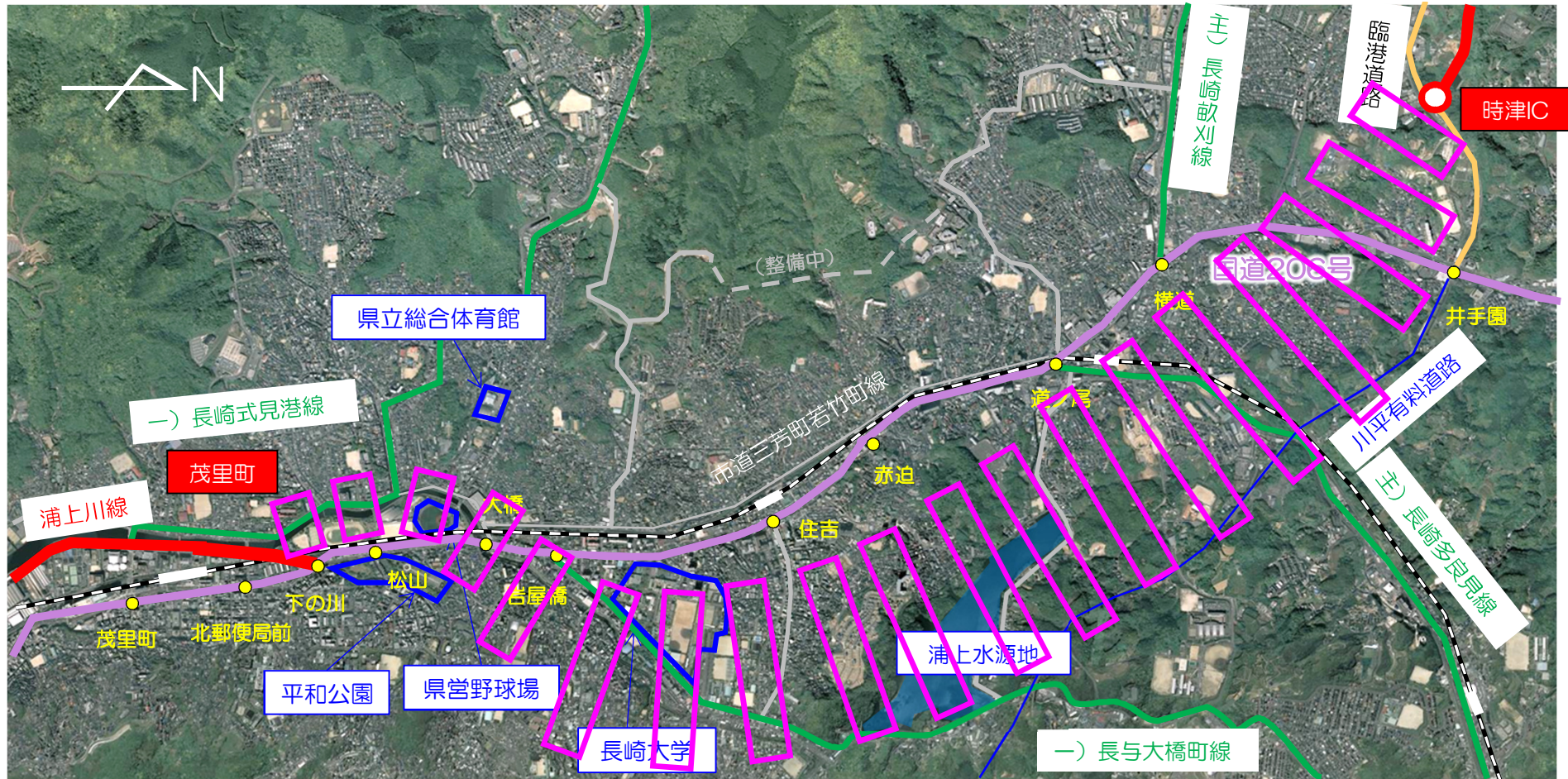


4. 長崎南北幹線道路のルート選定

第3案 市街地の東側を通るルート案

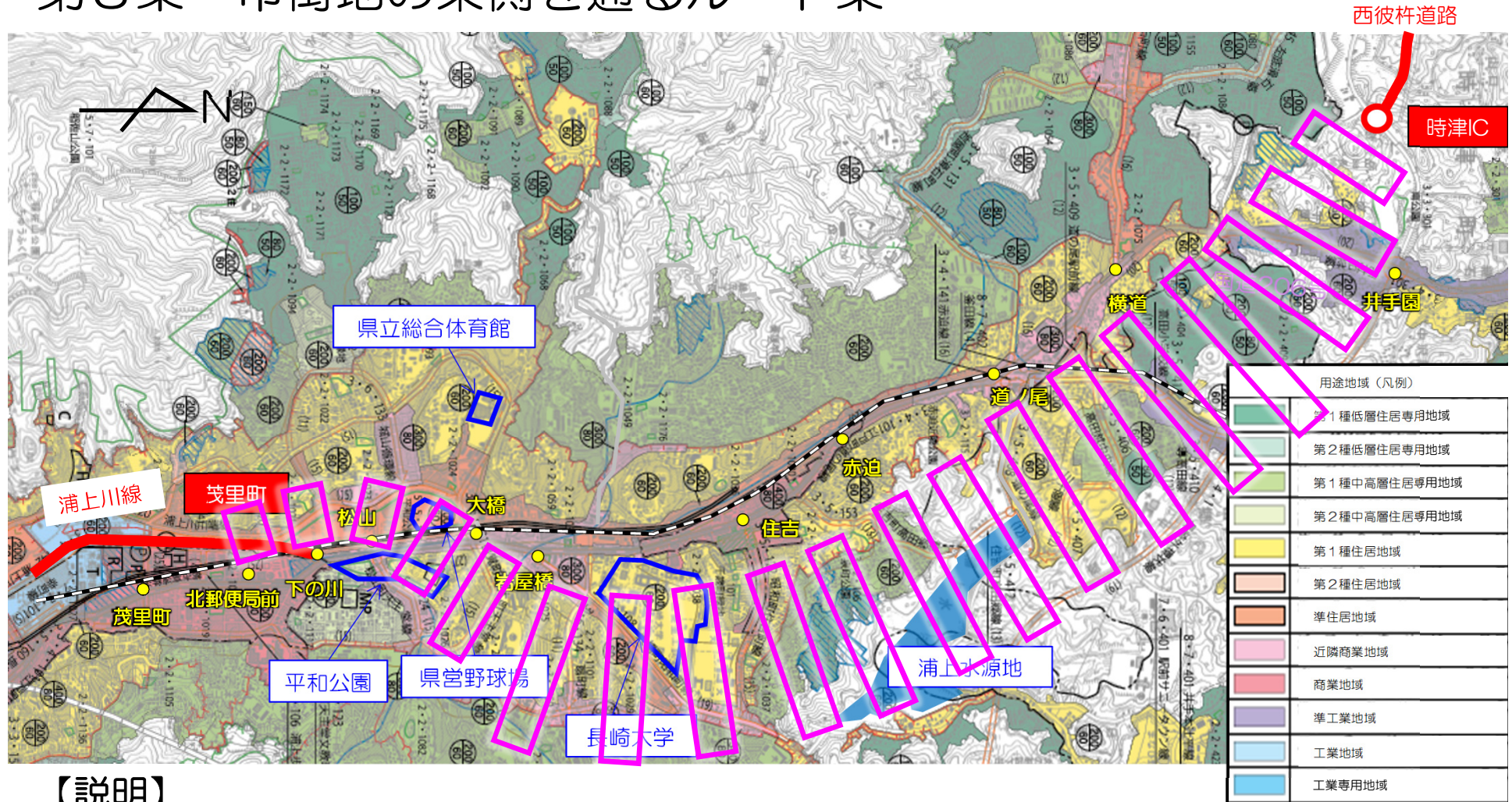


【説明】

一般国道206号より東側の市街地を通過するルート案

4. 長崎南北幹線道路のルート選定

第3案 市街地の東側を通るルート案

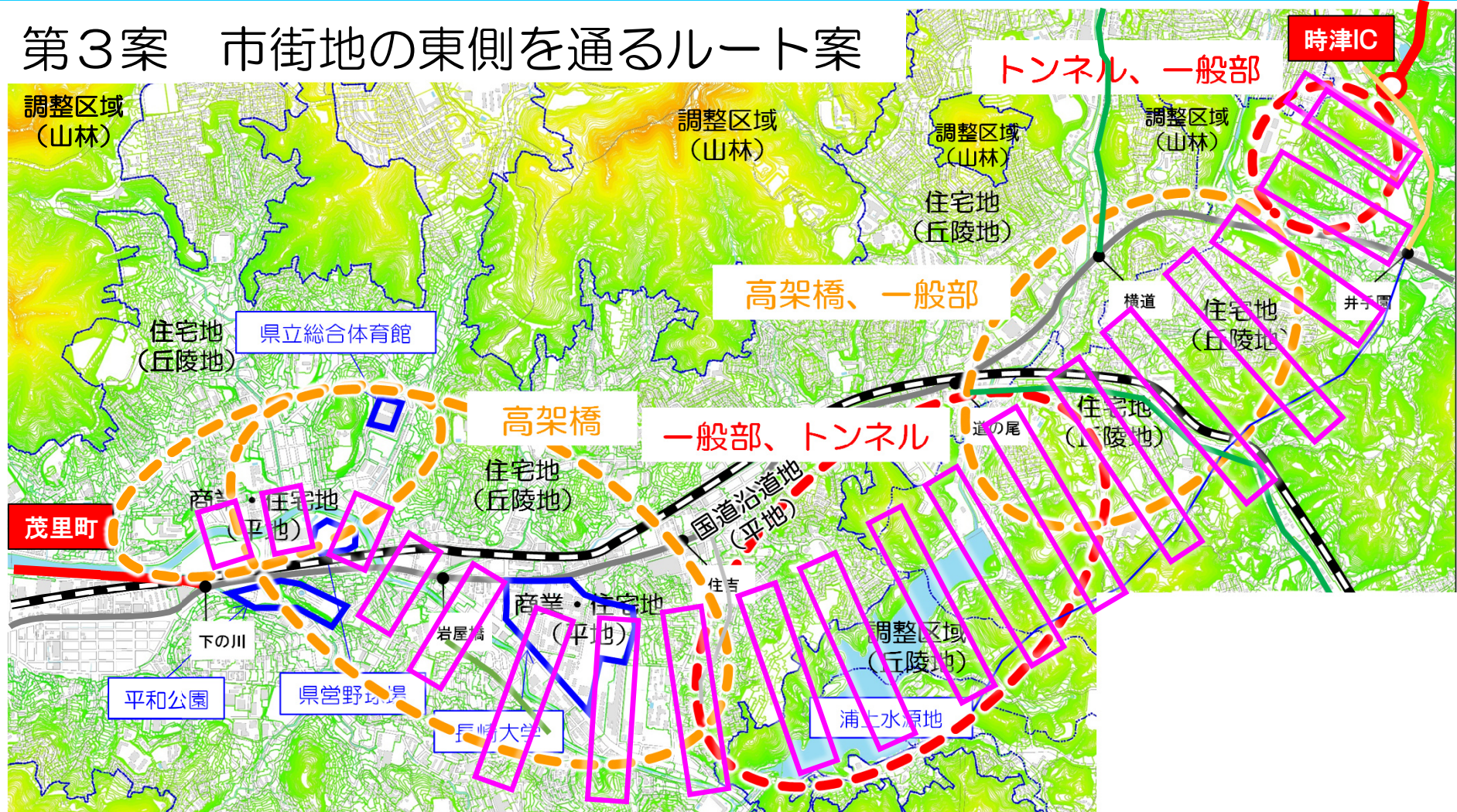


【説明】

用途地域は、起点側から商業・業務系が指定され
 途中区間（水源地付近）は市街化調整区域、
 終点側は住居系の指定と市街化調整区域がある。

4. 長崎南北幹線道路のルート選定

第3案 市街地の東側を通るルート案



【説明】

- 岩屋橋付近の平地は高架橋となる。
- 浦上水源地付近の丘陵地は、一般部（切土・盛土）となる。
- 道の尾付近の丘陵地は、高架橋や一般部となる。終点部付近は、トンネルや一般部となる。
- JRや国道206号との立体交差が各2回必要となる。